THE ART CONNECTION 2012

ODISHA BIENNALE

25TH NOV—2ND DEC, 2012

YOKOSO ODISHA, NAMASHKAR TOKYO

ODISHA BIENNALE

『オディシャ・ビエンナーレ』
企画書

12 億の人口を有する大国インド。近年の経済発展は目覚ましく、世界中から多くの企業が進出し、日本企業も新たな市場としてインドで着々と活動の輪を広げています。また国家間でも 2008 年の「戦略的グローバル・パートナーシップの前進に関する共同声明」が発表され、インドでの「クールジャパン戦略推進事業」の試みなど、日本とインドの関係は、近年非常に密接になりつつあります。また、2012 年は日印外交樹立６０周年の記念の年にあたり、日本でのインドに関する関心は、非常に高まっていると言えます。

オディシャ州について

インドのオディシャ州は、インドの東側に位置するベンガル湾に面した風光明媚な土地で、世界遺産のスーリヤ（太陽）寺院をはじめ、壮麗な寺院遺跡が見られるたたずまいの美しい古都です。また、古くはヒンズー教の神殿内のみで踊られていたオディッシーダンスと呼ばれる古典舞踊が盛んな地域で、サリーや銀細工など、芸術性の高い伝統文化の根ざした地域でもあります。

『オディシャ・ビエンナーレ』とは

ODISHA BIENNALE

インド在住 16 年を数え、インド政府に日本人としてただ一人公認されているインド古典舞踊のオディッシーダンサー、小野雅子。その小野雅子がインドに芸術文化活動を通して何か恩返しがしたいと立ち上げた非営利の組織が「ムドラー・ファンデーション」です。
このたび、ムドラー・ファンデーションでは、オディシャ州の州都ブバネシュワールで、『オディシャ・ビエンナーレ』を企画し、開催することになりました。2 年に一度開催される『オディシャ・ビエンナーレ』は、古典舞踊やコンテンポラリーダンスなどのパフォーミングアーツを軸に、写真や絵画、映像作品、デザイン、ファッションなど、さまざまな芸術分野のアーティストを招いて、2013 年からの正式開催を予定しています。
世界中からトライバル・フォーク・古典・コンテンポラリーなどいったさまざまな芸術分野の各アーティストたちが、カテゴリーを隔てることなくオディシャという場所に集い、自由で創造的な表現の場を創出することを目指しています。また、インドというアジアと世界の根源とも言うべき土地の特性を活かしながら、コラボレーションやワークショップ、作品制作などをおこない、その成果を展示、発表します。

◎目的と意義

『オディシャ・ビエンナーレ』では、毎回地元オディシャのアーティストや伝統文化の職人と海外アーティストがコラボレーションを試みます。それは、オディシャ州のアートを国際的に紹介すると同時に、オディシャ州の人々、とりわけ子どもたちが国際的な現代アートに触れるためのプラットホーム作りをおこなうのが狙いです。また、孤児院や障害者施設でのワークショップをおこない、社会環境への働きかけにも積極的に取り組んでいきます。このイベントの開催をきっかけに、オディシャという地域コミュニティの中に世界中のアーティストが積極的に参画し、芸術分野での活発な意見交換や技術の向上を促し、グローバルとローカルコミュニティーを密接にリンクさせていきたいと考えています。そして、オリッサ州が持つ貴重な文化的資源の価値を再認識し、有意義な文化的開発を進めることにより、新たな経済発展への国際的なアイデア作りを模索します。その実践的なマーケティングとネットワーク作りおこなうこと、それが『オディシャ・ビエンナーレ』の目的です。
ムドラー・ファンデーションは、オディシャ州が国際的に権威あるアート / ダンス・ビエンナーレ『オディシャ・ビエンナーレ』を開催する文化都市として認知されることを目指します。

小野雅子　プロフィール　　MASAKO ONO

インド古典舞踊家オディッシーダンサー　東京都出身 インド　オディシャ州在住
モダンダンス、ヒップホップ等を経て、1996 年からオディッシーダンスを学ぶために渡印。世界レベルのインド舞踊家を育成輩出するインド舞踊名門校ヌリッティアグラムに入門。1998 年からヌリッティアグラムのダンサーとして、数多くの公演活動をするとともに、日本でレクチャー・デモンストレーションやワークショップを開く。2001 年からソロ公演を始め、世界各国にて公演。（ワシントン・ケネディーセンター、NYC・アジア・ソサエティー他多数）2007 年から日本人としては唯一のインド政府公認オディッシーダンサーとなり、同年、NHK BS1「ファーストジャパニーズ」に出演。2008 年、NEWSWEEK 誌「世界が最も尊敬する日本人 100 人」の一人として選ばれる。
現在は、ソロ公演を中心に活動するとともに、コンテンポラリーダンサーやフュージョンミュージシャンとのコラボレーションによるタントリックダンスのパフォーマンスも展開している。

＜ムドラー・ファンデーション＞
2009 年、オディッシーダンサー小野雅子がインドの貧しい子どもたちにダンス・パフォーマンスや海外アーティストによるアート・ワークショップなどを提供する目的で立ち上げた非営利の基金及び活動組織。インドで長きにわたりアーティスト活動を続ける中で、芸術表現を通じてインド社会、とりわけオディッシーダンスの発祥の地であり、今も活動の拠点であるオリッサ州に何か還元できることはないかという思いが深まり、「ムドラー・ファンデーション」を立ち上げた。「ムドラ」とは日本語で言う所の「印（いん）」と呼ばれる指の組み方で、人体に流れるプラーナと呼ばれるエネルギーをコントロールするインド独特の考え方。仏像に見られる様々な手の形も元はムドラであり、オディッシーダンスにも多くのムドラが存在する。ふれあうことを通じ、ものごとを良い方向に導いていきたい、ムドラー・ファンデーションにはそんな願いが込められている。

『オディシャ・ビエンナーレ』プレ・イベント
tHE ART connection 2012
Yokoso ODISHA, Namashkar TOKYO 開催について

ムドラー・ファンデーションでは、『オディシャ・ビエンナーレ 2013』に先立ちまして、2012 年 11 月末から 12 月初頭にかけて、先行プレ・イベント『tHE ART connection 2012〜Yokoso ODISHA, Namashkar TOKYO〜』（ジ・アートコネクション 2012 〜ようこそオディシャ、ナマシュカール東京〜）を開催いたします。
『オディシャ・ビエンナーレ 2013』の開催に向けて、オディシャと東京在住のアーティストが 1 年先行してパフォーマンスと先品発表、ワークショップをおこいない、次年に向けて互いに交流を深めながらイベントの足がかりを作ります。今イベントの経験を通じて、今後、より多くの国々の影響力のあるアーティストに参加を促し、『オディシャ・ビエンナーレ』をオディシャと世界をつなぐ強固でしなやかなアートイベントへと育てていきたいと考えています。

尚、本企画は在コルカタ日本国総領事館の正式な後援を受け『日印国交樹立 60 周年記念事業』に認定されました。

開催地：オディシャ州ブバネシュワール
開催日時（発表・展示会期）：2012 年 11 月 29 日〜 12 月 2 日
＊11 月 25 日から海外アーティスト受け入れ（準備期間）

◎11 月 29 日（木） オープニング・イベント
◎12 月 2 日（日） クロージング・イベント

会期中は、参加アーティストによるワークショップを開催。
（孤児院や視聴覚障害者学校などでも開催する予定）

『tHE ART connection 2012』Yokoso ODISHA, Namashkar TOKYO

＜参加アーティスト＞

小野雅子　(インド舞踊、コンテンポラリー・ダンス)

郷裕一（ファッションデザイナー）

永田琴（映画監督）

服部貴康（写真家）

小林三旅（映像作家）

松尾邦彦（パフォーミング・アーツ部門企画・

メディアアーティスト）

小南ゆう子（舞踏ダンサー）

相澤千晶（グラフィックデザイナー）

小山奈々子（展示部門企画・記録担当）

平野宏治　（映画プロデューサー）　　他

＜イベント内容＞

◎オープニング・イベント内容

11 月 29 日　開場 17：45　会場：Utkal Mandap

第一部 18:00 ～　MOPA kids ウェルカムダンスパフォーマンス、

第二部 19:00 ～　アーティストプレゼンテーション、永田琴監督作品『空にいちばん近い幸せ』上映、小野雅子パフォーマンス他

◎クロージング・イベント

12 月 2 日　開場 18:00　開演 18:30　会場：J.D Center of Arts

小南ゆう子舞踏＆松尾邦彦のメディアアート・パフォーマンス、

郷裕一作品発表＆小野雅子パフォーマンス他

＜ワークショップ内容＞

◎11 月 25 日～ 28 日　会場：MOPA

小南ゆう子：舞踏ワークショップ

◎11 月 26 日・27 日　会場：Sai international school

永田琴＆平野宏治：「子供たちによる映画制作ワークショップ」

◎11 月 30 日　会場：KISS

小山奈々子：写真ボックスのコラージュワークショップ

＆服部貴康：子ども写真ワークショップ　（孤児院対象予定）

◎12 月 1 日・2 日　会場：Sai international school

服部貴康：ドキュメンタリー写真についてのレクチャー

＆ワークショップ

活動ご支援のお願い

以上の内要をご理解いただいた上で、ムドラー・ファンデーションでは、本年度開催予定のプレイベント及び、来年度からスタートする『オディシャ・ビエンナーレ』に対してご支援いただける個人、団体、企業さまを募集しております。また、ギャラリーやアート関係の団体さまのパートーナーシップも同時に募集しております。
何卒『オディシャ・ビエンナーレ』の活動にご賛同いただききまして、スポンサーまたはパートナーとして、ご支援をどうぞよろしくお願い申し上げます。

ODISHA BIENNALE

ムドラー・ファンデーション　代表　小野雅子
ムドラー・ファンデーション　日本支部担当　服部貴康

日本国内連絡先　服部貴康
〒１７６−００１４東京都練馬区豊玉南３−２５−１１−２０２
携帯　０９０−１４３０−８９０２　Email　tadanohito34@s6.dion.ne.jp